



2020年10月14日

各 位

会 社 名 株式会社 大庄  
代表者名 代表取締役社長 平 了寿  
(コード：9979 東証第1部)  
問合せ先 常務取締役管理本部長 野間 信護  
(TEL. 03-5764-2229)

特別利益・特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩し  
並びに2020年8月期 期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年8月期連結累計期間において、特別利益・特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しを行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、2020年4月14日に公表した期末配当予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上

新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金等の支給申請の実施により、944百万円を特別利益に計上しました。

2. 特別損失の計上

2020年8月期において、以下の特別損失を計上しました。

- ①新型コロナウイルス感染症による損失 2,826百万円（うち第4四半期会計期間 179百万円）  
臨時休業期間及び営業時間の短縮中に発生した店舗運営に係る固定費について計上しました。
- ②減損損失 469百万円（うち第4四半期会計期間 253百万円）  
「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗閉鎖等に係る設備資産等の減損処理を計上しました。

3. 繰延税金資産の取崩し

当社における繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、当該繰延税金資産を取崩すこととし、連結ベースで法人税調整額436百万円、個別では408百万円を計上しました。

4. 期末配当予想の修正

(1) 配当予想修正の理由

当社は、企業価値の向上並びに株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題に位置付けております。また、利益配分につきましては、事業拡大に向けて内部留保の充実に努めるとともに、株主の皆様に対しては、安定した配当を継続的に行うことを基本方針としつつ、業績動向や財務健全性の状況も十分に考慮した上での適正な利益還元を行っていきたいと考えております。

しかしながら、本日開示の「2020年8月期決算短信」で発表の通り、今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当期の業績は非常に厳しい結果となりました。加えて今後が不透明な現状を勘案して検討した結果、当期の期末配当予想につきましては、誠に遺憾ながら無配と

させて頂くことになりました。株主の皆様には、ご期待に沿えない結果となってしまったことを心よりお詫び申し上げます。

当社といたしましては、新型コロナウイルス感染拡大影響の長期化を想定した対策・施策として、テイクアウト・デリバリーサービスの推進、外販事業の強化、経費削減への取組みや各種営業施策等に取り組んでおり、早期に売上の回復を図るとともに黒字転換を実現し、可能な限り早期での配当の再開を目指してまいりますので、株主の皆様には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 修正の内容

基準日	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2020年4月14日)		未定	未定
今 回 修 正 予 想		0円00銭	6円00銭
当 期 実 績	6円00銭		
前 期 実 績 (2019年8月期)	6円00銭	8円00銭	14円00銭

以 上